

科目名	リーディング・スキルズ		
担当教員名	佐藤 里野		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-実践英語科目群		
学 年	3	ク ラ ス	2Aクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択, 選必
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	高等学校教諭一種免許状（英語） / 中学校教諭一種免許状（英語） / 英語		

ねらい（ 科目の性格 科目の概要 学修目標）

科目の性格

本科目は、共通科目の実践英語科目のうち、DT、ビジネス情報、現代社会コースにおける選択科目、およびマスメディアコースにおける選択必修科目で、英語での受信力・発信力の基礎となるリーディング・スキルズを養成することを目的としている。

科目の概要

授業では、近年国際的な注目を集めている日本のポップカルチャーについて取り上げた新聞やエッセイ、論説文など、ジャンルの異なる様々な英語の文章を扱う。各回で、リーディングの基礎となるボキャブラリーや重要構文などの基本項目から、パラグラフの構造理解などの応用事項までを総合的に扱い、多様な英語メディアからの情報収集を可能とするような読解力を習得することを目指す。

学修目標

英語力養成のために、予習・復習は不可欠である。テキストには事前に目を通し、積極的な態度で授業に参加してほしい。

1. 授業で扱う英文を読み取り、概要を把握することができる。
2. 重要なボキャブラリーを習得する。（毎回単語テストを実施する。）
3. 英語の受信力・発信力養成における国際的な視野の重要性を理解する。

内容

1	イントロダクション
2	日本のポップカルチャー外交（1）
3	日本のポップカルチャー外交（2）
4	アメリカにおける日本のアニメ受容（1）
5	アメリカにおける日本のアニメ受容（2）
6	日本のサブカルチャーへの視線（1）
7	日本のサブカルチャーへの視線（2）
8	海外に進出する日本の「女の子」（1）
9	海外に進出する日本の「女の子」（2）
10	海外に進出する日本の「女の子」（3）
11	アメリカ人が見る宝塚（1）
12	アメリカ人が見る宝塚（2）
13	ニューヨーカーの日本映画批評（1）
14	ニューヨーカーの日本映画批評（2）
15	まとめ

評価

期末試験（50％）、単語テスト（20％）、平常点[課題提出、授業態度]（30％）により評価を行い、60点以上を合格とする。合格点に満たなかった場合は、再試験を行う。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】プリントを配布する。

【参考図書・辞書等】授業で適宜紹介する。

科目名	リーディング・スキルズ		
担当教員名	島村 豊博		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-実践英語科目群		
学 年	3	ク ラ ス	2Bクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	選必, 選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	高等学校教諭一種免許状（英語） / 中学校教諭一種免許状（英語） / 英語		

ねらい（ 科目の性格 科目の概要 学修目標）

科目の性格

本科目は、共通科目の実践英語科目のうち、DT、ビジネス情報、現代社会コースにおける選択科目、およびマスメディアコースにおける選択必修科目で、英語での受信力・発信力の基礎となるリーディング・スキルズを養成することを目的としている。

科目の概要

授業では、コミュニケーションツールとしての英語習得に十分配慮しつつ、英語のことばの持つ美しさが味わえるように英米の短編小説の名作を原文で読む。比較的平易な英語で書かれた作品が選ばれているので、楽しみながら読み進めることができ、英語で物語を読む醍醐味が体得できるようになる。

学修目標

英語力養成のために、予習・復習は不可欠である。テキストには事前に目を通し、積極的な態度で授業に参加してほしい。

1. 授業で扱う英文を読み取り、ストーリー展開が正確に把握できるようにする。
2. 重要なボキャブラリーを習得する。（毎回単語テストを実施する。）
3. 日常的な具体的な場での英語表現を学び、それを使えるようにする。

内容

1	イントロダクション
2	The Happy Prince (幸福な王子) (1)
3	The Happy Prince (幸福な王子) (2)
4	The Happy Prince (幸福な王子) (3)
5	The Happy Prince (幸福な王子) (4)
6	The Happy Prince (幸福な王子) (5)
7	Indian Camp (インディアン・キャンプ) (1)
8	Indian Camp (インディアン・キャンプ) (2)
9	Indian Camp (インディアン・キャンプ) (3)
10	The Last Leaf (最後の一葉) (1)
11	The Last Leaf (最後の一葉) (2)
12	The Last Leaf (最後の一葉) (3)
13	The Last Leaf (最後の一葉) (4)
14	The Last Leaf (最後の一葉) (5)
15	まとめ

評価

期末試験（60％）、単語テスト（20％）、平常点[課題提出、授業態度]（20％）により評価を行い、60点以上を合格とする。合格点に満たなかった場合は、再試験を行う。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】プリントを配布する。

【参考図書・辞書等】授業で適宜紹介する。

科目名	エッセイ・ライティング		
担当教員名	宮本 正治		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-実践英語科目群		
学 年	3	ク ラ ス	
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択, 選必
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	高等学校教諭一種免許状(英語) / 中学校教諭一種免許状(英語) / 英語		

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

英語が国際語となっている現在、社会で活躍するためには英語で自分の意見を表現する力が求められます。そこでこの授業では、ひとつのまとまった内容を英語で書く訓練をすることを目的とします。もちろん、まとまった内容を表現するためには、ある程度の長さのパラグラフを書く必要がでてきます。一文一文を文法的に書くことに加えて、英文エッセイにおけるパラグラフの概念を学び、論理的な文章を書くことをめざします。

内容

英文では論理的な思考が重視されます。そのため、英語で書かれる文章のパターンは論理の流れにしたがうことが多くなります。逆に言うと、英文エッセイのパターンに習熟していれば、論理展開のしっかりした文章を書くことができるわけです。授業では、「意見と理由」「観察と分析」「実験と結果」「賛成と反対」「比較と対比」「分類」「指示」「歴史」「原因と結果」などのパターンを取り上げ、それぞれの文章に応じた書き方を練習していきます。また、教室での演習に加えて、課題を行うことによって、実践的な英文読解のスキルを身につけていきます。

第1週：ガイダンス

第2週：Unit 1: Conclusions/Reasons(Model Essay)

第3週：Unit 1: Conclusions/Reasons(Original Essay)

第4週：Unit 2: Analysis(Model Essay)

第5週：Unit 2: Analysis(Original Essay)

第6週：Unit 3: Theory/Proof(Model Essay)

第7週：Unit 3: Theory/Proof(Original Essay)

第8週：Unit 4: Controversy(Model Essay)

第9週：Unit 4: Controversy(Original Essay)

第10週：Unit 5: Comparison/Contrast(Model Essay)

第11週：Unit 5: Comparison/Contrast(Original Essay)

第12週：Unit 7: Instructions(Model Essay)

第13週：Unit 7: Instructions(Original Essay)

第14週：Unit 8: Chronological Order(Model Essay)

第15週：まとめ

評価

期末テスト50%、平常点(課題、参加態度)50%

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

【教科書】

『Skills for Better Writing 構造で書く英文エッセイ(改訂版)』(石谷由美子他、南雲堂、1900円+税)

科目名	ニュース・リスニング		
担当教員名	佐藤 里野		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-実践英語科目群		
学 年	3	ク ラ ス	
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択,選必
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	高等学校教諭一種免許状(英語) / 中学校教諭一種免許状(英語) / 英語		

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

本科目は、共通科目の実践英語科目のうち、DT、ビジネス情報、現代社会コースにおける選択科目、およびマスメディアコースにおける選択必修科目で、英語での受信力・発信力の基礎となるリスニング力を養成することを目的としている。

科目の概要

全15回の授業では、おもに、現代の日本を海外に紹介する番組(NHK衛星放送)を扱う。各回で、ニュース英語のリスニングに必要なボキャブラリーや重要構文などを確認する。それらの知識に基づき、視聴覚メディアから英語を総合的に理解するスキルを習得することを目指す。

学修目標

英語力養成のために、予習・復習は不可欠である。テキストには事前に目を通し、積極的な態度で授業に参加してほしい。

1. 授業で扱う英語ニュースを聞き取り、要点を把握することができる。
2. 重要なボキャブラリーを習得する。(毎回単語テストを実施する。)
3. 英語の受信力・発信力養成における国際的な視野の重要性を理解する。

内容

指定の教科書に基づき、以下のスケジュールで授業を行う。

1	イントロダクション
2	Unit1 Messenger of Hope
3	Unit2 Swim-assist Suits
4	Unit3 Left-hand Serenade
5	Unit4 Picture Card Comeback
6	Unit5 Support Across the Pacific
7	Unit6 Switching Over
8	Unit7 Micro Miracle Workers
9	Unit8 Light Savers
10	Unit9 Sushi Chefs Cast Abroad
11	Unit10 Drawing in Sales
12	Unit11 Thinking Outside the Box
13	Unit12 Value Added Goods Plus Service
14	Unit13 "Downshifting" on the Rise
15	まとめ

評価

期末試験（60％）、単語テスト（20％）、平常点[課題提出、授業態度]（20％）により評価を行い、60点以上を合格とする。合格点に満たなかった場合は、再試験を行う。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】山崎達朗・他著 『What 'on Japan 6』金星堂

【参考図書・辞書等】授業で適宜紹介する。

科目名	インターネット英語		
担当教員名	湊 和夫		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-実践英語科目群		
学 年	3	ク ラ ス	
開 講 期	前期	必修・選択の別	選必, 選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	英語		

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

この科目では、インターネットとEメールの英文の読み方と書き方を学ぶ。授業の前半7回はEメール、後半7回はインターネット英語についてであり、15回目が「まとめ」となる。

受講者は、毎回、教科書を予習して出席する。原則として、ほぼ全員が発表を求められる。定期的にライティング・レポートの提出を求められる。

受講者全員が、簡潔ながら正確なインターネット英語を書く能力を体得することを目標とする。

内容

1	Email Mania
2	Email Spam
3	Email Fraud
4	Email Lingo
5	Email Breakups
6	Mobile Email
7	Email Efficiencies
8	Social Networking Sites
9	Blogging
10	Information Superhighway
11	Online Gambling
12	Citizen Journalism
13	Online Shopping
14	Internet Advertising
15	まとめ

評価

口頭発表とレポート(40点)、試験(60点)、計100点満点で、60点以上を合格とする。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

Norma Reveler, 根間弘海共著 English for the Digital World(インターネット社会を生きる総合英語)、三修社。

科目名	オフィス英語		
担当教員名	福田 弘		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-実践英語科目群		
学 年	3	ク ラ ス	1Aクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択, 必修*, 選必
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	英語		

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

グローバル時代においてビジネスの各シチュエーションで英語に遭遇した場合に戸惑うことなく対応できるような基本を身につける。

下記内容にあるシチュエーションにおける会話をよく使われる文型と単語で学ぶことをベースとする。その中でも特に使われるものを繰り返し練習する。関連するメールの作成やビジネス英文の和訳も宿題等でやって貰う。

教材は前週に配布するので予習をしておく。

前週やった練習は翌週にQ U I Zを行うので復習しておく。

内容

企業に勤務し米国駐在を命じられ赴任する人をストーリーの中心に据え、赴任時から遭遇する様々なシチュエーションでの必要な英語表現を選びそれを反復応用し使えるようにする。シチュエーションは実際に直面するものを想定しているが英語表現自体は極力易しいものを選んでいく。夫々のシチュエーションに必要なeメール文の作成や関連するビジネス英文の和訳等も宿題も含めやってもらう。

さらにそれらのシチュエーションに関連づけ、インターネット検索をおこない、必要な語彙の習得また米国での生活の実際なども理解して貰う。

毎週の授業の基本は会話の理解、基本文型の反復練習、基本文型の復習Q U I Z、関連事項の解説となる。

評価

復習Q U I Z (前週の復習) 40%、宿題 40% 授業時のパフォーマンス 20%

60点以上を合格とする。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

教科書は使用しない。

科目名	オフィス英語		
担当教員名	設楽 優子		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-実践英語科目群		
学 年	3	ク ラ ス	2Aクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	必修*, 選択, 選必
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	英語		

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

この科目は社会情報学部実践英語科目の一つで、英語教職課程の中では、英語コミュニケーションのジャンルに分類されている。

ビジネスレターの作成・読解と関連語彙の習得(正しい発音も含む)。

ビジネスのシチュエーション別のレターを書き、返答の文面を理解し、その理解を速やかにまた表現へとつなげる。電子メールの英語もレターとあまり変わらない、分かりやすさを重んじた英語である。口語による英語表現もできるように、発音も重視する。

内容

出版社の情報では、この教科書は「米国パソコン市場への参入を目指す日本企業が、米国の大手販売店と協力関係を確立しビジネスを展開するという一環した流れに沿って、ビジネス英語を学習する」教材となっています。「新市場開拓から社交に至る状況設定のもと、各章は相互関の往復文書で構成され、ライティングと読解能力を習得」できます。適宜、会話にも使えるようにするために、ビジネス英語の語彙の発音にも注意して練習します。

1	1章 市場開拓(説明と照会)
2	2章 説明(引き合い)
3	3章 オファーとカウンターオファー
4	4章 交渉と契約
5	5章 信用状開設(依頼と説明)
6	6章 船積みスケジュール(説明と要請)
7	7章 調整とトラブル連絡
8	8章 誤送品の売り抜き(依頼と提案の受諾)
9	9章 市場動向(照会と報告)
10	10章 値下げと一手販売店契約(提案と興味の表示)
11	11章 出張(契約の交渉と締結)
12	12章 人事異動(連絡と昇進祝い)
13	13・15章 社交(招待・出欠問合せと出席後の礼状)
14	14章 記念式典の開催と出席後の礼状
15	まとめ

評価

以下の割合で点数化し、60%以上を合格とする。

- (1) まとめの成果: 60%
- (2) 平常点: 40% (小テスト、予習、課題提出)

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

[教科書] 小西和久著、『フローで学ぶ国際ビジネス英語 英文レターの書き方・読み方(The Flow of International Business Correspondence)』、朝日出版社、定価：1,733円（本体1,650円+税）

科目名	オーラル・コミュニケーション		
担当教員名	アリス スウェンソン		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-実践英語科目群		
学 年	3	ク ラ ス	1Aクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	必修*,選必,選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	高等学校教諭一種免許状(英語) / 中学校教諭一種免許状(英語) / 英語		

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

The goal of this class is the improvement of the student's speaking and listening level. By improving one's English fluency, the chances of success in travel and work will improve.

内容

In this class students concentrate on listening and speaking. Role plays, short speeches, pronunciation drills, and communication gap exercises are utilized.

Week One to Three- Topics that are close to the students lives, both school and family will be discussed.

Week Four to Six- Expanding topics to discuss broader issues is the goal. Students will learn to give opinions, explanations, and ask questions.

Week Seven to Nine- Oral practice continues with speaking tests in groups, feedback from peers and teacher, and building vocabulary for a variety of topics.

Week Ten-fifteen - Students will continue to work on speaking with a variety of activities such as conducting surveys and giving summaries of short stories. The last few weeks will concentrate on speaking about new topics in small groups.

評価

Students are evaluated on participation (30%) and homework (30%), tests and quizzes (40%),

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

"Topic Talk" by David Martin, EFL Press

科目名	オーラル・コミュニケーション		
担当教員名	アリス スウェンソン		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-実践英語科目群		
学 年	3	ク ラ ス	1Bクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	必修*,選択,選必
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	高等学校教諭一種免許状(英語) / 中学校教諭一種免許状(英語) / 英語		

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

The goal of this class is the improvement of the student's speaking and listening level. By improving one's English fluency, the chances of success in travel and work will improve.

内容

In this class students concentrate on listening and speaking. Role plays, short speeches, pronunciation drills, and communication gap exercises are utilized.

Week One to Three- Topics that are close to the students lives, both school and family will be discussed.

Week Four to Six- Expanding topics to discuss broader issues is the goal. Students will learn to give opinions, explanations, and ask questions.

Week Seven to Nine- Oral practice continues with speaking tests in groups, feedback from peers and teacher, and building vocabulary for a variety of topics.

Week Ten-fifteen - Students will continue to work on speaking with a variety of activities such as conducting surveys and giving summaries of short stories. The last few weeks will concentrate on speaking about new topics in small groups.

評価

Students are evaluated on participation (30%) and homework (30%), tests and quizzes (40%),

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

"Topic Talk" by David Martin, EFL Press

科目名	時事英語		
担当教員名	宮本 正治		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-実践英語科目群		
学 年	3	ク ラ ス	
開 講 期	前期	必修・選択の別	選必, 選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	高等学校教諭一種免許状(英語) / 中学校教諭一種免許状(英語) / 英語		

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

インターネットが普及した現在、情報の多くが英語でやりとりされています。

この授業では、英字新聞やそのホームページを読むための基本的な知識を学び、実際の記事を読む訓練をおこないます。また、適宜リスニングもおこないます。

辞書を片手に、やさしい英字新聞が読めるようになることが目標です。

内容

テキストは、アメリカ・ニューヨーク州で英語学習者用の新聞として出版されているNews for You紙から記事を選んでいきます。現代世界の様々な出来事や問題に対する知識、関心を深めながら読み進めていきます。授業では、毎週1つのトピックを読みます。

第1週：ガイダンス

第2週：Unit 1; The Euro: Still Strong After 10 Years

第3週：Unit 2: New Rules Require Truckers to Speak Better English

第4週：Unit 3: A Journey from the Streets to the Nobel Prize

第5週：Unit 4: Britain Warns Public to Prepare for Worldwide Food Crisis

第6週：Unit 5: U.S. Judges Study Science in Court

第7週：Unit 6: A Gold Medal for the Mna Who Saved a Billion Lives

第8週：Unit 7: Russia's President Threatens to Fire Officials Who Lack Computer Skills

第9週：Unit 8: Germany and Poland Fight over Manuscripts

第10週：Unit 9 :Saudi WomenReady to Take the Wheel

第11週：Unit 10: Richardson's Death Brings Awareness to Britain Injuries

第12週：Unit 11: Please Don't Lick the Tuna

第13週：unit 12:The Curious History Behind "Curious George"

第14週：unit 13:Death of Coral Reefs Would Have Global Effect

第15週：まとめ

評価

参加態度 50%

テスト 50%

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

『やさしいメディア英語 2012/2013年度版』

大月実著、成美堂、1900円

科目名	シネマ英語		
担当教員名	向後 朋美		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-実践英語科目群		
学 年	3	ク ラ ス	
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択, 選必
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	英語		

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

この科目は社会情報学部の実践英語科目の一つであり、社会情報学科デジタルテクノロジーコース、ビジネス情報コース、コミュニケーション学科現代社会コースにとっては選択科目、コミュニケーション学科マスメディアコースにとっては選択必修科目となります。

映画を字幕なしで聞き取れる力を養うことを目標に、英語の音変化の特徴を学び、映画を通して生きた英語に触れながら基礎的な英語力を養うとともに、英語の正しい学習法を知り、将来も主体的に学び続けていけるだけの素地を培うことを目指します。

内容

第1週： オリエンテーションとリスニング実践演習

第2週～第13週： 映画全体を12回に分割し、映画本編のリスニング・ディクテーション

授業の初めには前回の授業の復習の小テストを実施します。

第14週～第15週： まとめと全体の確認

評価

以下の割合で点数化し、60 %以上を合格とします。

(1) 期末試験： 70%

(2) 平常点： 30% (復習の小テスト(ディクテーション・単語・スピーキング)、予習、課題提出)

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

ディズニー映画"Enchanted"(邦題「魔法にかけられて」)をもとに作成したオリジナルプリントを配布します。

科目名	観光英語		
担当教員名	アリス スウェンソン		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-実践英語科目群		
学 年	3	ク ラ ス	2Aクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択, 選必
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	英語		

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

The goal of this class is the improvement of the student's speaking and listening level. By improving one's English fluency, the chances of success in travel and work will improve.

内容

In this class students concentrate on listening and speaking. Role plays, short speeches, pronunciation drills, and communication gap exercises are utilized.

Week One to Three- Topics that are close to the students lives, both school and family will be discussed.

Week Four to Six- Expanding topics to discuss broader issues is the goal. Students will learn to give opinions, explanations, and ask questions.

Week Seven to Nine- Oral practice continues with speaking tests in groups, feedback from peers and teacher, and building vocabulary for a variety of topics.

Week Ten-fifteen - Students will continue to work on speaking with a variety of activities such as conducting surveys and giving summaries of short stories. The last few weeks will concentrate on speaking about new topics in small groups.

評価

Students are evaluated on participation (30%) and homework (30%), tests and quizzes (40%),

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

"Topic Talk" by David Martin, EFL Press

科目名	観光英語		
担当教員名	アリス スウェンソン		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-実践英語科目群		
学 年	3	ク ラ ス	2Bクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択, 選必
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	英語		

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

The goal of this class is the improvement of the student's speaking and listening level. By improving one's English fluency, the chances of success in travel and work will improve.

内容

In this class students concentrate on listening and speaking. Role plays, short speeches, pronunciation drills, and communication gap exercises are utilized.

Week One to Three- Topics that are close to the students lives, both school and family will be discussed.

Week Four to Six- Expanding topics to discuss broader issues is the goal. Students will learn to give opinions, explanations, and ask questions.

Week Seven to Nine- Oral practice continues with speaking tests in groups, feedback from peers and teacher, and building vocabulary for a variety of topics.

Week Ten-fifteen - Students will continue to work on speaking with a variety of activities such as conducting surveys and giving summaries of short stories. The last few weeks will concentrate on speaking about new topics in small groups.

評価

Students are evaluated on participation (30%) and homework (30%), tests and quizzes (40%),

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

"Topic Talk" by David Martin, EFL Press

科目名	ビジネス・ライティング		
担当教員名	湊 和夫		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-実践英語科目群		
学 年	3	ク ラ ス	
開 講 期	後期	必修・選択の別	選必, 選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	英語		

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

この科目では、実社会に出てから役立つよう「ビジネス英語」の書き方を学ぶ。教科書に基づいて

英文ビジネス通信文 社交通信文 貿易通信文の順に学んでいく。

受講者は、毎回、教科書を予習して出席する。原則として、ほぼ全員が発表を求められる。定期的にライティング・レポートの提出を求められる。

ビジネス英語自体は、それほど難しいものではない。ビジネス英語の基礎知識から貿易英語の初歩段階までの学習を目標とする。

内容

1	ビジネスレターの書き方
2	封筒とその書き方
3	社内メモの書き方
4	電子メールの仕組み
5	ビジネス通信文の本文
6	社交通信文の書き方
7	出張・面会の申し込み・ホテルの予約
8	帰国後の礼状の書き方
9	紹介・招待・祝賀・弔意
10	社外および社内への通知
11	英文履歴書の書き方
12	貿易通信文の書き方
13	取引関係の創設
14	売買契約の成立
15	まとめ

評価

口頭発表とレポート(40点)、試験(60点)、計100点満点で、60点以上を合格とする。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

【教科書】田中豊彦著 International Business English for Beginners(初めて学ぶビジネス英語)
成美堂。

科目名	パブリック・スピーキング		
担当教員名	アナ ウォーカー		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-実践英語科目群		
学 年	3	ク ラ ス	
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択, 選必
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	高等学校教諭一種免許状(英語) / 中学校教諭一種免許状(英語) / 英語		

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

Students will learn the skills, preparation and practice required to make a good speech in English. The focus will be on delivery, content, and visual aids. Students will give a mini-presentation in English in pairs.

内容

Introductions/Holidays

Self-introduction

Hometown

Family

Interests

Education

Culture Shock

Stereotypes

Population

Events

Places

Processes

Opinions

Presentations

Evaluation

評価

Grades will be based on course work (20%), homework exercises (15%), topic talks (15%), and a mini-presentation (50%).

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

Successful Presentations An Interactive Guide by Mark D. Stafford

Cengage Learning